

教育研究評議会要旨

日 時	場 所	欠 席 者	陪 席 者
平成 17 年 12 月 16 日（金）16 時 00 分	事務局大会議室		

(はじめに)

議事に先立ち、学長から、前回 11 月 18 日開催の教育研究評議会要旨の確認が行われ、了承された。

1. 審議事項

(1) 平成 18 年度香川大学個別学力検査等の実施体制について

教育担当理事から、審議資料 1 に基づき、11 月 25 日開催のアドミッション委員会において検討した平成 18 年度香川大学個別学力検査（前期日程及び後期日程）の実施体制（案）について説明があり、審議の結果、原案を承認した。

なお、このたびの変更点として、新たに直前点検を実施することとした旨併せて説明があった。

(2) 香川大学名誉教授称号授与規則等の改正について

総務・財務担当理事から、審議資料 2-1、2-2 及び参考資料に基づき、役員会及び部局長等会議において本学名誉教授の称号授与規則の選考基準を緩和の方向で検討することが了承されたことを受け、「香川大学名誉教授称号授与規則」及び「香川大学名誉教授称号授与規則に関する申し合わせ」の（案）を作成した旨説明があり、審議の結果、原案を了承した。

2. 報告事項

(1) 社団法人国立大学協会第 2 回臨時総会について

学長から、報告資料 1 に基づき、12 月 12 日に東京にて開催された標記会議について報告があった。

(2) 平成 17 年度中国・四国地区国立大学教養教育実施組織代表者会議・事務協議会について

教育担当理事から、報告資料 2 に基づき、11 月 24 日に徳島にて開催された標記会議について報告があった。

(3) 平成 16 年度（第 9 回）学生生活実態調査報告書の発行について

教育担当理事から、隔年で発行している標記報告書を 11 月末に発行し、学内外へ配付した旨報告があった。

(4) 平成 18 年度大学入試センター試験試験場別志願者数について

教育担当理事から、報告資料 3 に基づき、香川県下の受験者総数と動向について報告があった。

(5) 平成 18 年度香川大学推薦入学者選抜試験実施状況等について

教育担当理事から、報告資料 4-1～4-3 に基づき、平成 18 年度の推薦入学者、編入学学生及び大学院入学者の選抜試験実施状況について報告があった。

(6) 平成 18 年度科学研究費補助金の申請状況について

学術担当理事から、報告資料 5 に基づき、平成 18 年度科学研究費補助金の申請状況について報告があった。

また、学長から、中期目標・中期計画に掲げている目標（８０％）に相反し、一部の部局を除いて全学的に応募率が減少したことに触れ、努力した部局に対しては評価し、翌年度の予算配分等において反映させたいと考えていること、学長の意向として、研究を行うことは教員としての義務であり、評議員においては積極的に教員に対して研究費の申請を督促願うことの発言があった。

（７）香川大学と(株)百十四銀行との連携協力に関する協定について

連携・評価担当理事から、報告資料６－１及び６－２に基づき、地域における互いの情報を結びつけることを通じて相互の連携協力を強化し、相互の発展並びに地域の発展に貢献することを目的に、本学と百十四銀行との連携協力に関する協定を結ぶこととした旨報告があった。

なお、同理事から、平成１８年１月１１日（水）に本学において協定書を締結し、同日記者発表を行う予定である旨説明があり、今後、他の地方銀行とも同様の協定を締結していきたい旨発言があった。

（８）平成１７年度香川大学と高等学校との懇談会について

教育担当理事から、１２月２６日に本学において標記懇談会を開催する旨報告があり、部局長に出席の要請があった。

３．その他

（１）平成１７年度計画進行状況のチェック（１月期）について

連携・評価担当理事から、平成１７年度計画進行状況について、中間チェック（１０月期）においてヒアリングを実施し確認したが、その後の進行状況の最終確認を行いたいため、予め送付している項目別シートを作成の上、平成１８年１月１０日までに提出してほしい旨要請があった。

（２）大学院教育の実質化について

連携・評価担当理事から、１１月１８日教育研究評議会において認証評価への対応状況に関するアンケートとして、「大学評価基準（機関別認証評価）対応状況表」を作成の上、平成１８年１月末までに提出するよう依頼しているが、その内、１２月２日部局長等会議において説明している大学院教育の実質化に係る項目については、平成１８年１月１０日までに提出してほしい旨要請があった。

（３）個人情報の流出について

医学部長から、１２月７日に文部科学省の指摘により調査したところ、本学医学部学生が自宅のパソコンで作成した病棟実習レポートがパソコンのウイルス感染により、Winny（ファイル交換ソフト）のネットワーク上に流出したことが判明したこと、及び、１２月９日に医学部において記者会見を行うとともに、教職員及び学生に対し、個人情報管理の徹底、及びファイル交換ソフトの使用に関する注意喚起を行ったこと等について報告があった。

これに関連して、連携・評価担当理事から、以下の事項について要請があった。

- ① ファイル交換ソフト（P2Pソフト）については使用を原則禁止し、業務上必要な場合には情報セキュリティ管理責任者に申請すること。
- ② パソコンのアンチウイルスソフトの全学一括購入を検討するにあたり、年度内にアンケートを実施するので、協力してほしいこと。

閉会 １７時００分